

いいもの成らせるさくらんぼ便り

Vol. 3 今年も安定生産を目指そう！ 結実確保対策を万全に

1 これまでの生育と今後の気象

- 4月10、11日に降霜があり、一部地域で雌しべの枯死がみられた。
- 現在の「佐藤錦」の生育は概ね平年並み。
- 今後、**高温・乾燥が続く予報**のため、**満開期は平年より数日早くなる見込み**。
(結実確保対策の**準備を早めに**)

表 「佐藤錦」の満開期

地点	満開期	
	前年	平年
園芸農業研究所	4/21	4/25
山形市中野目	4/20	4/25
寒河江市三泉	4/21	4/26
東根市東根	4/21	4/27
南陽市高梨	4/17	4/27

2 今年の結実対策のポイント

- 土壌の乾燥**に注意 →開花期まではたっぷり灌水
- 受粉樹**少ない、開花期が合わない→切り枝の利用、採取花粉による受粉
- 開花期が**雨、低温、強風**の場合 →毛ばたき受粉をプラス1回
- 訪花昆虫**が少ない、飛ばない →
- 防霜対策** (これまでは少ないが、最後まで抜かりなく)

表 結実が良い園地と悪い園地の結実対策の違いは？ (令和元年調査)

	短果枝 当たり 結実数	人工受粉の 実施回数	切り枝を設 置した人の 割合	マメコバチ の設置数 (箇所/園)	受粉樹の導入	
					植栽割合	品種数
結実良園	2.1 果	2.0 回	25%	3.7 箇所	29%	3.2 品種
結実不良園	1.0 果	1.6 回	8%	2.5 箇所	24%	3.0 品種

3 成りやすい園地づくり (準備を万全に)

(1) 防風対策

- 風当たりの強いところでは、**防風ネット (目合い2mm または4mm目を二重にする) や古ビニールを風上側に設置**

※降霜時はネットや古ビニールのすそを上げておく

(2) 切り枝の利用

- 開花直前の太めの枝を切除
- 水揚げを良くするため、水差し時に切断面を切り戻す
- 受粉樹が少ない場所、受粉樹から遠い場所に多く設置

(3) かん水 (気温が高く乾燥が懸念されます)

- 開花期まではたっぷりかん水
(開花期間中に乾燥した場合もかん水)
- かん水の目安は20t (20mm) /10a程度
(かん水施設がない場合は、樹冠下だけでもかん水)

バケツに水差し
して設置



4 成らせるためには、人工受粉は必須作業

注意すべき 天候や園地の 条件

- ・開花期の天気が悪い場合
- ・受粉樹との開花期が合わない場合
- ・雌しべの枯死が多い園地
- ・受粉樹が少ない園地
- ・摘芽した園地
- ・昨年、早期に落葉した園地

**必ず
人工受粉**

(1) 時期

- ◆ **5分咲きと満開期の2回は必ず実施**
開花期の天気が悪い場合はプラス1回

- ◆ **受粉樹から遠い樹を重点的に**

(2) 方法

- ◆ **花が乾いている時なら、いつでもOK!**

◆ 毛ばたき受粉

- ・受粉樹の主枝1本撫でたら、交配樹の主枝を2～3本撫でて、花粉を付ける

◆ 花粉を採取しての受粉

- ・受粉樹から風船状～開花直後の花を摘み、開薬・希釈して使用（開薬翌日から使用可）
- ・「ぼんてん」を用いる場合は、正常な花をねらって受粉する



回転させながら花粉を付ける

◆ 採取花粉を

石松子で希釈する目安

- ・ 葯殻つき花粉：3～5倍
- ・ 精製花粉：6～10倍

5 防霜対策



花芽が割れ始めた頃
(雌しべ長: 5mm前後)



開花前～開花始期
(雌しべ長: 6～8mm)



この時期が最も霜害に弱い!!

- ◆ **今が最も危険な時期です!**
- ◆ **気象情報に注意して、引き続き防霜対策の徹底を!**

※防霜対策は前号 (vol. 2) を参照

6 「開花期防除」は適期を逃さず実施!

- ・開花直前、満開3日後の防除を遅れず実施
- ・雨が予想される場合は前倒し **(防除は雨の前が基本)**

- ・凍霜害対策マニュアル
- ・低温アラートの活用を!



↑ アラートの設定はこちらから

村山総合支庁農業技術普及課
TEL 023-621-8291

西村山農業技術普及課
TEL 0237-86-8301

北村山農業技術普及課
TEL 0237-47-8631

山形さくらんぼブランド力強化推進協議会(事務局:農林水産部園芸大国推進課・農業技術環境課)